

## 1. まちづくりの理念（基本となる考え）

### ①これまでのまちづくりの理念

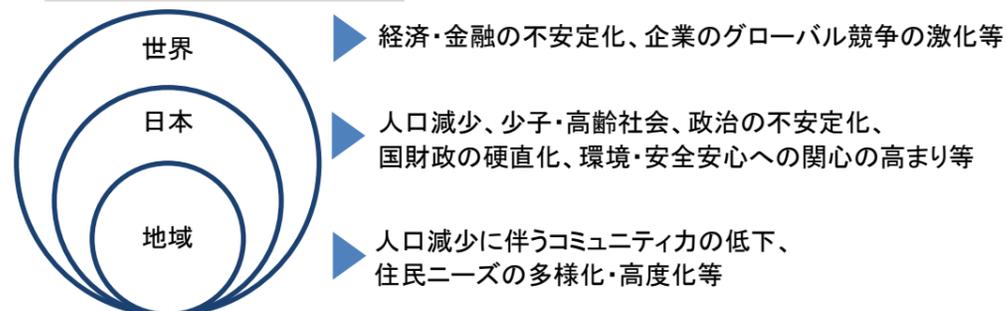
- ・第四次総合計画(H16～H25)の理念(協働によるまちづくり、産業振興)
  - ・まちづくり基本条例(H17)の理念(協働の具体化)
  - ・レインボープランの理念(循環型社会の形成、協働の実践的取組み)
  - ・「長井の心」の理念 など
- 協働によるまちづくり、産業振興、「長井の心」に基づく人財育成の推進

### ②これからのまちづくりの理念

- ・これまでの理念による目標達成は、いまだ道半ば。  
⇒ これまでの理念を継承し、市民と行政が協働による地域経営に取り組む。
- ・さらに、長井市の現状を踏まえ、市民一人ひとりが、生き活きと安心して暮らすことができ、「しあわせ」や「心の豊かさ」を感じられるまちづくりを行っていく。

## 2. 長井市を取り巻く情勢・現状

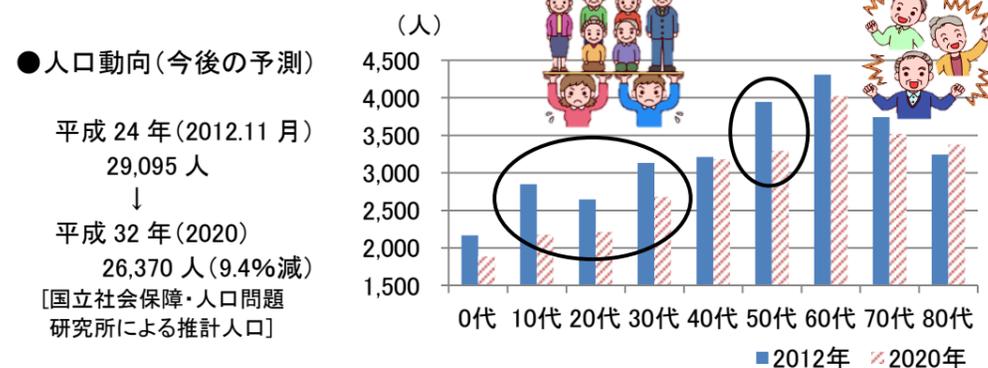
### ①世界・日本の状況



### ②長井市の状況（市民意向調査・統計情報より）

- **幸せについて**
  - ・幸せだと思う人の割合  
「大いに思う」「やや思う」 71.5%
  - ・幸せを感じる時  
家族と過ごす時間、生活に余裕があるとき 等
  - ・良い回答の割合が低い項目  
「生活の余裕」「地域の憩いの場」「活躍の場」「社会貢献」
- **「幸せな生活のために重要と思われる市の取り組み」の上位3つ**

1位 健康づくり・福祉・医療	43.4%
2位 産業振興	28.1%
3位 防災・環境	9.0%
- **「満足度が低く、重要度が高い」施策**  
雇用、商工業、行財政、協働、交通基盤等

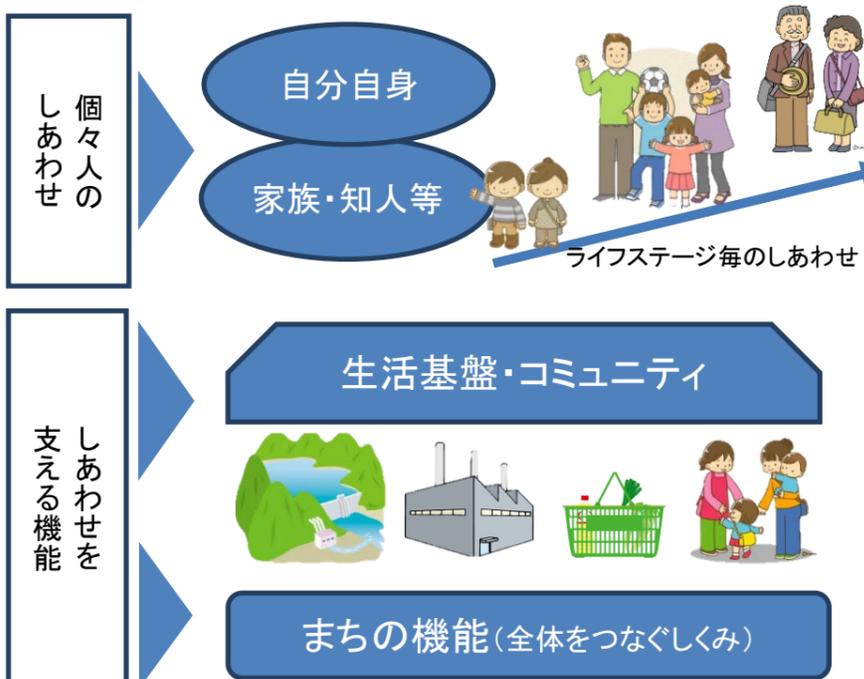


現在は幸せを感じる人が多いが、経済情勢の悪化や人口減少等を背景とした将来に対する不安が広がつつある。

## 3. 目指そうとするまちのイメージ(目標)

目指そうとするまちのイメージ(現時点のもの)

「しあわせをみんなで作るまち」



「しあわせ」は、個々人の価値観やライフステージによって異なる。一方で、まちには個々人のしあわせの実現を支えていく機能がある。市民と行政が協力し、補い合い、その機能を高めていくことが必要。

## 4. 特に取り組む必要がある課題

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ①市民の健康・安全安心の確保   | ②少子高齢社会への対策 |
| ③地域経済の立て直し       | ④地域の魅力の向上   |
| ⑤公共施設・インフラの老朽化対策 | ⑥持続可能なまちづくり |

## 5. 目指そうとするまちの実現のために取り組む施策の方向性

### 【取り組みの大きな方向性】

以下の3項目を最重要テーマとし、課題を解決するための取り組みを行っていく。

#### 1. 市民生活・安全安心

市民の健康や安全安心を守り、子どもから高齢者まで生き活きと暮らせるまちづくりを行う。

#### 2. 産業・働く場・インフラ

地域資源を活かした産業振興や働く場の創出支援、交流人口増加等で地域経済の活性化を図る。  
インフラの長寿命化や計画的な整備を行う。

#### 3. 持続可能なまちづくり

市民と行政の協働によるまちづくりや行財政の改善等により、持続可能なまちにしていく。